



博物館通信



2018年10月発行 Vol.69

秋の星空 ★

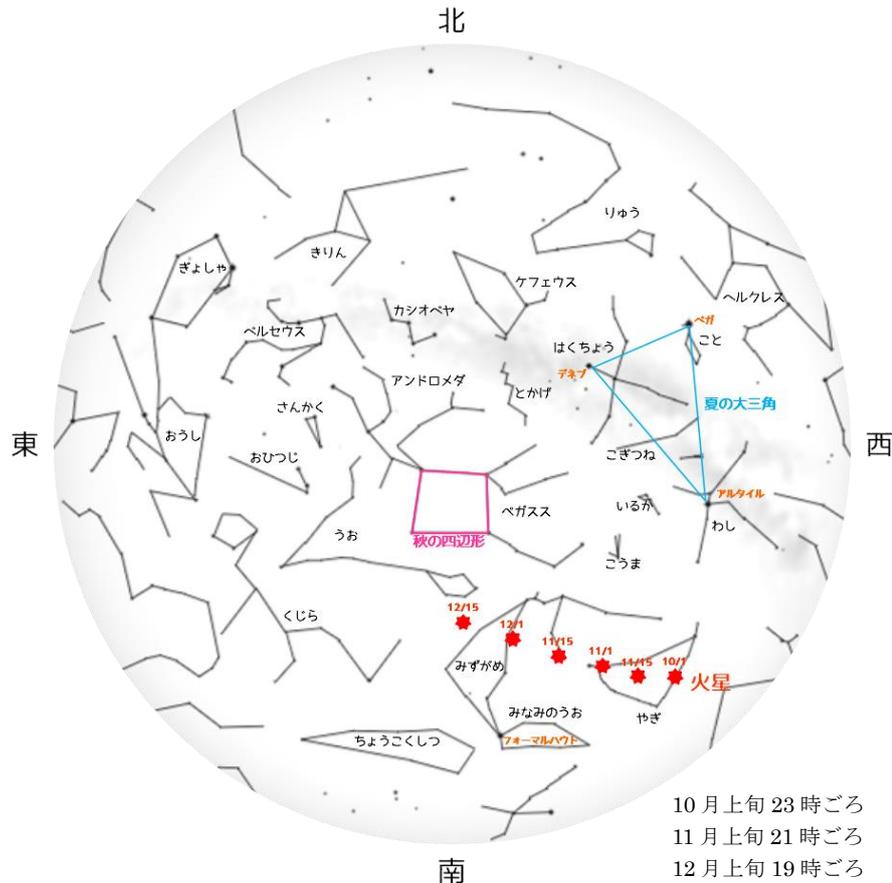
秋の星空は、夏の星空と比べあまり明るい星がないため、さびしく感じられます。しかし、今年は惑星が見えるので、それほどさびしい印象をうけないかもしれません。

土星・火星!?

夏に引き続き、秋にも惑星の土星・火星を見ることができます。

日の入り後、南西の空低い位置に土星が見えます。10月下旬ごろまで見ることができます。

今年7月31日に地球に大接近した火星は、少しずつ地球との距離が離れ明るさも暗くなっていますが、まだ明るく輝いているので探しやすいです。火星は、秋の間、やぎ座・みずがめ座・うお座へと移動していきます。



10月上旬 23時ごろ
11月上旬 21時ごろ
12月上旬 19時ごろ

ふたご座流星群!?

三大流星群の1つふたご座流星群は、今年12月13日から14日にかけての夜と14日から15日にかけての夜が見頃です。20時ごろから少しずつ流れ始め、22時ごろからは本格的に流れ始めます。今年は、月が23時ごろには沈むので、沈んだ後は月明かりを心配することなく見ることができます。街明かりが少なく星がよく見える場所で観察すると、多いときで1時間に40個ほど見える予想です。12月14日は金曜日なので、次の日がお休みの人は遅い時間まで観察をしてもいいかもしれませんね。観察するときは、大人の人と安全な場所で行いましょう!!

観察のポイント

- ・ピークの日にと時間を確認
- ・街明かりが少なく、空が広く見渡せる場所で
- ・最低15分間は観察し続ける
- ・寝転んで空全体をポーっとながめる
- ・外にいても大丈夫な暖かい服装で



流星群??

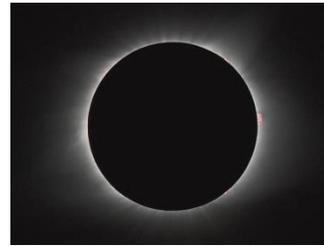
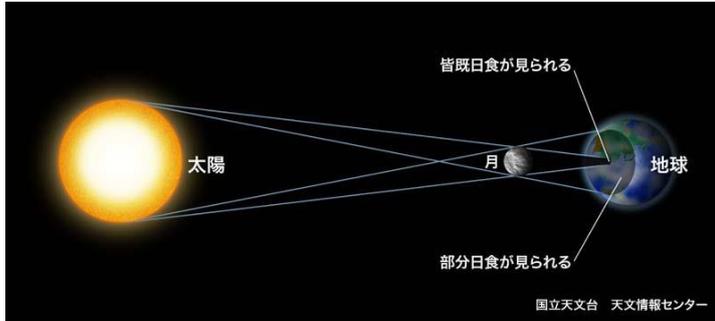
流星群は、彗星の細かいちりがもとになっている。彗星は、氷とちりなどが集まってできた天体で、細長い軌道で太陽を回っている。彗星が太陽に近づくと、太陽の熱によって氷がとけ、彗星の軌道上には、たくさんのちりが残る。地球がそこを通ると、たくさんのちりが地球に突入する。これが「流星群」として見られる。

来年
2019年1月6日

部分日食！！

来年2019年、年明けすぐ1月6日に「部分日食」という大きな天体現象があります。

日食というのは、月が太陽と地球の間を通るとき、太陽—月—地球と一直線に並び月が太陽を隠す現象です。太陽の全部が隠される現象を「皆既日食」、太陽を隠しきれず輪のように見える現象を「金環日食」と呼びます。今回の日食は太陽の一部が欠けて見える「部分日食」です。

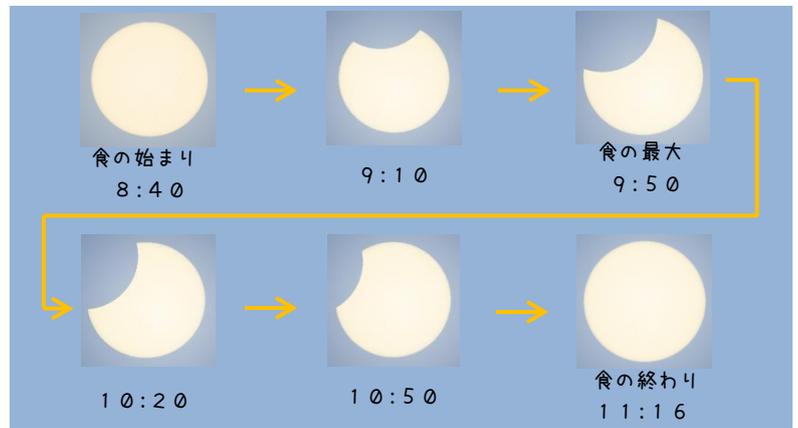


皆既日食
(写真：国立天文台 HP より)



金環日食
(写真：国立天文台 HP より)

浅口市では、8時40分ごろから食が始まり、最大に欠けるのは9時50分ごろです。その後、11時15分ごろに日食は終わります。



太陽を直接見たらダメ×
必ず専用の太陽観察グラス
を使ってね!!
安全に観察しよう!!



京都大学 3.8m 望遠鏡 ニュース⑦ — 完成!! —

国内最大級のせいめい望遠鏡がついに完成!!
8月末から試験観測が始まり、11月から本格的に観測がスタートする予定です。
突然起こる天体の爆発現象や太陽系以外にある惑星探しなどの観測を行っていきます。



みんなには、ドームの外から
ガラス越しに望遠鏡を見学
してもらえます!!

見学時間
毎日
9:00~16:30

※年末年始期間、雨天・積雪・強風時、整備期間などを除く。予告なく中止の場合があります。



プラネタリウム秋番組

私たちが日本で見る星空と他の国で見る星空はどのように違うのか。世界の風景と共に紹介します。また、なぜ違う星空が見えるのか、天の川の正体は何かを実際に撮影した美しい星空やCGで分かりやすく解説しています。



岡山天文博物館

〒719-0232
岡山県浅口市鴨方町本庄 3037-5
TEL/FAX 0865-44-2465

